

2022年度 第3回 光材料・応用技術研究会

日時 : 2022年11月11日(金) 13:00~21:00

会場 : エクシブ琵琶湖 会議室 (ハイブリッド開催、宿泊研究会)

担当幹事: 栗村 直(NIMS)、高 磊(産総研)、古川 保典(オキサイド)

テーマ : 新材料が拓くフォトニックデバイス

高速広帯域の光スイッチとして、カーボン系材料が注目されている。その特異な電子構造から、電子デバイスとして薄膜作成技術が成熟してきており、EUではグラフェンの一大プロジェクトが進行している。本講演会では、カーボンナノチューブ、グラフェンなど炭素系光学材料に焦点をあて、そのスイッチング特性や光集積回路への展開手法について御講演を頂く。また酸化物結晶研究開発のパイオニアである(故)佐々木孝友先生を偲んで、関係者に酸化物フォトニクス材料を振り返って頂き、新たな材料の開発、事業化の歴史・要諦について御議論頂く。

* * * * プログラム * * * *

13:00-13:05 代表幹事挨拶 山本 和久(大阪大学)

【講演】

1. 13:05-13:15 「新材料が拓くフォトニックデバイス」について 栗村 直(NIMS)

2. 13:15-13:55 ナノカーボン光デバイスの進展 山下 真司(東京大学)

3. 13:55-14:35 グラフェンを中心とする二次元材料によるプラズモニック光デバイスの新展開 尾辻 泰一(東北大学)

* * * 休憩 (14:35~14:55) * * *

4. 14:55-15:35 グラフェンとシリコン系導波路による非線形光学応用 高 磊(産総研)

5. 15:35-16:15 高熱伝導性コンポジットセラミック蛍光体 藤岡 加奈(大阪大学)

6. CLEO Pacific Rim 2022報告

16:15-16:25 概要 栗村 直(NIMS)

16:25-16:40 光通信デバイス領域 庄司 雄哉(東京工業大学)

16:40-16:55 テラヘルツ領域 縄田 耕二(東北工業大学)

16:55-17:00 お知らせ、食事・宿泊案内など(事務局)

* * * 夕食・休憩 (17:00~19:30) * * *

【ナイトセッション】

- 話題提供： 19:30-20:00 結晶研究とビジネス(仮題) 吉村 政志(大阪大学)
(オンライン講演)
- 総合討論： 20:00-21:00 光材料・光デバイスはどこへむかうべきか？
-

[会場案内] エクシブ琵琶湖 〒521-0004 滋賀県米原市磯1477-2

TEL: 0749-52-6111 <http://reserve.resort.co.jp/hotels/xiv/biwa/index.html>

交通: JR東海道新幹線/JR東海道線 米原駅からタクシーまたはシャトルバスで約10分

[お申込み・お問合せ]

- ・御宿泊、費用に関する詳細は、別紙「2022第3回研究会参加の御案内」を御確認ください。
- ・お問合せは光協会(担当: 開発部 間瀬)へ御連絡ください。
参加申込み締切りは10月28日(厳守)です。
- ・E-mail: omat@oitda.or.jp
- ・TEL: 03-5225-6431(代)
- ・携帯電話(研究会当日のみ): 080-9572-4351

[参加費]

- ・光材料・応用技術研究会会員 : 無料
- ・会員同伴者(同部署、1名まで) : 3,000円
- ・一般聴講者 : 15,000円
- * 参加費は、銀行振込みにてお支払い願います。
- * **宿泊される方は研究会参加費以外に10,000円の追加費用が必要です。御了承ください。**